

自伐型林業で地域に貢献、NPO法人吉里吉里国

1 平成28年度地域林業促進活動褒賞を受賞

NPO法人吉里吉里国（大槌町）の活動が、地域林業の活性化に貢献したとして、平成28年6月15日に岩手県林業改良普及協会の総会席上で表彰状を授与されました。



2 集落を軸とした自伐型林業の実践

NPO法人吉里吉里国は、大槌町吉里吉里地区及び浪板地区の民有林において、手入れ不足となっていた森林を対象に、森林所有者から施業委託を受け、間伐作業を実施しています。作業は劣勢木を中心に1割間伐を行い5年毎に間伐を繰り返すことで、地域に優良な材を残し、100年先を見据えた長期的な森林施業を実践しています。

また、森林所有者から間伐経費は受け取らず、間伐材を薪として販売。薪の販売先も地元が9割を占め、地域材を地域で消費するシステムを確立しています。



3 沿岸広域局長を表敬

6月21日（火）に沿岸広域振興局局長室にて、NPO法人吉里吉里国の芳賀理事長が小向局長に、今回の褒賞授与及び活動について報告しました。

4 今後の活動について

NPO法人吉里吉里国は、避難所生活をしてきた地元の方々が震災瓦礫を薪にして全国に販売したことをきっかけに発足しました。

以降、間伐作業や薪の販売だけでなく、地元の小学生を対象とした森林教室や、企業研修を受入れ薪割り体験を行っており、幅広く地元の森林、林業の普及活動にも精力的に取り組んでいます。

今後も、高密度路網と小型機械を駆使した間伐作業に取り組むとともに、林業技術のスキルアップ、地域の長期的な森林施業に向けて活動を持続させていきたいとの意欲を語っていただきました。

沿岸広域振興局でも、森林経営計画作成の支援を行い、実施している間伐施業の更なる集約化を促しつつ、自伐型林業の定着に向けたサポートを行うことで、NPO法人吉里吉里国が地域で長く経営活動を行なっていけるよう支援をおこなっていききたいと思います。